



2015 年度 第 1 回入試  
(1月10日午前実施)

# 昌平中学校入学試験問題

国 語

(制限時間 50 分)

## 注 意

- (1) 係の先生の指示に従って、所定のらんに受験番号、氏名を書きなさい。
- (2) 答はすべて解答用紙のきめられたところに、はっきりと書きなさい。
- (3) 問題は1ページから10ページまであります。
- (4) 印刷のはっきりしないところは、手をあげて係の先生に聞きなさい。
- (5) 途中でトイレに行きたくなったり、気分が悪くなったりした場合は手をあげて、  
係の先生の指示に従いなさい。

受験番号	氏 名

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(設問に字数制限のある場合は、句読点や符号も一字と数えます。)なお(※)は作問者の註です。

台風接近のニュースを聞くと、私はどうしても、あのことを思い出してしまう。

子供の頃、すぐ裏に内科の医院があった。そこに一匹の猿が飼われていた。小さな猿だったが、とても利口で、朝、新聞配達がくると、足音を聞きつけて一番先に飛び出してひたたくり、眠っている主人の枕もとに置いたという。

その猿が、台風のさなか、嵐の音に野生にかえたのか、鎖を千切って逃げ出し、屋根に上って叫び声を上げていた。

台風が去ったあと、風に叩きつけられたのか、屋根瓦に足を滑らせたのか、冷たくなった小さなきながら(※死体)が転がっていたというのである。

私はその猿を見たことはなかった。見たことはないのに、屋根にたかまって、濡れた毛を逆立て吠える小さな猿を見たような気がしてならない。

台風がくるといって、昔はどうしてあんなに張り切ったのであろう。夕方あたりからくる、夜半すぎにくる、というとき、掃除当番もそこそこ、運動場で遊んだりしないで、まっすぐにうちに帰った。三人五人と同じ方角へ帰る友達と、風に逆らうようにして、ふざけながら急ぎ足

どなりながら、Aと茶の間に入ってゆく。出迎えなければ

出迎えないで、Bするな」

④ ① ② ③ ④

あ

歓声が上がる。

日頃、カン詰は無精たらしいおかずとして絶対に食卓にのぼらない。滅多に食べさせてもらえないと思うせいか、子供はみなカン詰が大好物で、特に、鮭カンの骨のところは、奪い合いをするほどである。

祖母が、長い木の柄のついた、今から考えると実に古風なカン切りで、三つ四つのカン詰をあげる。

その頃になると、風も雨も強さを増し、早々に雨戸をしめたのに、どこからすき間風が入るのかがガラス戸が鳴り、電灯も揺れ、ときどき暗くなつてまたいたたりする。

「懐中電灯の電池は大丈夫だな」

いつもは二本のお銚子(※ここでは徳利のこと)で、首が細く下部がふくらんだ容器の一種を一本に控えた父が、釣にゆくときの、おとしの背広にニッカー・ボッカーという土建屋スタイルで母にたずねている。

台所では、祖母が私たちの食べ残したご飯をお結びにしている。廊下や納戸が雨漏りしている。洗面器を出したりして、またひとしきりうち中が騒々しい。

で帰ったときの気持ちのたかぶりは、友達のお河童のサラサラした髪の毛が、天に向ってそり立つようになり、セラー服のひだのスカートが、パアッと上へまくれ上った形と一緒に、いまでも目に浮んでくる。うちへ帰ると、祖母や母も、気負い込んで、小走りに台所から廊下をいったりきたりしていた。

「ご飯はどのくらい仕掛けたら、いいかしらねえ。おばあちゃん」

「とりあえずひと釜で大丈夫じゃないかねえ」

早いところ炊きあげ、おかずもつくって、台風がこない前に、かまどの火を引いてしまいたいのである。

「暗い中でも持ち出せるように、学校の道具をランドセルにつめて置きなさいよ」

といわれて、子供たちは、子供部屋に入って教科書を出したり入れたりしている。

そこへ父が帰ってくる。

横なぐりの雨で、レインコートの肩のあたりはぐっしりと濡れ、折り返したズボンの裾から、細くて青白い脛が出ているのがおかしいのだが、こんなとき笑ったりしたらどんな目に逢うかみんな判っているから、なるべく切羽つまったような顔をして、玄関に一列にならび、

「お帰るなさい」

と合唱する。

「台風がくるというのに、そんなとこにのんびり並んでいるんじゃない!」

こういう日、お風呂は危いのでお休みである。うちは用心深かったのかどうか、台風が来そうな夜は、パジャマに着替えず、靴下だけ脱いで寝かされた。

枕もとにランドセルと、着替えの風呂敷包み(※ものを包む正方形の布)風呂敷で包んだものを置くか置かないかというときに、あ 停電してしまう。

懐中電灯で照らしてもらって、ご不浄(※トイレ)にゆき、風と雨の音を聞きながら眠るのは、子供心にも、不思議なたかぶりがあった。兄弟げんかも、夫婦げんかも、母と祖母のちょっとした気まずさも、台風の夜だけは、休戦になった。一家をあげて固まっていた。そこが、なんだかひどく嬉しかった。父も母も、みな生き生きしていた。

朝、目が覚めると、台風は嘘みたいにどこかへ行っていた。いつの間にか、私たちは、パジャマを着ていた。夜中に、「さあ、台風がそれた」というので、着替えをさせられたのであるが、全く覚えなかった。

子供というのは、どうしても、夜はあんなに眠かったのだろう。「寝る子は育つ」というから、育つためによく眠っていたのかも知れない。

くるくる、と思つて張り切っていた台風がそれるくらいつまらないことにはなかった。

「よかったよかった」

と親たちはよろこび合い、祖母と母は昨夜沢山炊き過ぎたお結びを食

べたりしていたが、子供はみんなつまらなそうにしていた。  
いざというときのために、玄関に揃えておいた長靴を仕舞いながら、  
「チュッ、つまらないの」  
というところがあった。

大人だって、すこしは、なんだ、という拍子抜けを感じているに違  
いないのに、それはちょっとした口振りやしぐさに出ているのに、そん  
なことは、少しも見せないのが、すこし憎らしかった。

父は雨どいにつまった落葉をかき出している。高箒（※竹箒のこと）  
を逆手にかまえて、馴れない庭仕事に息を切らしている父の頭の上に、  
抜けるような青空があった。赤とんぼも、こういうときによく見かけ  
た。台風の次の晩は、<sup>⑦</sup> 気のせいか虫の声も、ひととき大きく美しく聞  
えた。

そして、次の日は、八百屋の店先に、雨に叩かれ、倒れ、地に這って  
そうだったのであろう、傷だらけの茄子や胡瓜がひと山いくらの安売り  
で欠けた皿やザルにのせられならぶのである。

「XXさんのところは子沢山だから、まあ三皿も買っていったよ」  
台所で、母の割烹着の袖を引きながら祖母がこう話した声は、四十年  
も昔のことなのに、まだ耳の底に残っている。

（向田邦子『傷だらけの茄子』による）

問四 — 線④「どっちにしても怒るのである」とありますが、この表  
現にこめられた、筆者の「父」への思いとして、最も適当なものを次  
のA～Eから選び、記号で答えなさい。

A この時だけでなく、いつもいらしてどなり散らす父を鬱陶し  
がっている。

I この時の、こわい存在だが頼もしくもある父を冷静に見てほほえ  
ましく思っている。

ウ みんなのようすもわからないのに、頭からどなりつける父を嫌っ  
て馬鹿にしている。

E 家族みんなのために、厳しくしっかり命令してくれる父を心から  
信頼している。

問五 本文中の「あ」には、次の四つが入ります。正しく並べかえて、順  
序通りに記号で答えなさい。

A 「ウワー！」

I 廊下でうろついていたのが、耳ざとく聞きつけ、子供部屋に伝令  
が飛ぶ。

ウ 「晩のおかずはカン詰だつてよ」

E 「晩のおかずはなんだ。火を使うものはよせ。鮭カンと牛肉の  
大和煮があつた。あれ、切りなさい」

問六 本文中、過去に起きたことが書かれた文章なのに、——線①～④  
など、現在形（今起こっていることを表現する文体）になっているも  
のがあります。筆者は、このように書くことで、どのような感覚を読  
者に与えようとしたのですか。次のA～Eの中から、適当なものをす

問一 — 線①「見たような気がしてならない」とありますが、筆者は  
なぜ、そのように思うのですか。その理由として最も適当なものを次  
のA～Eから選び、記号で答えなさい。

A 子供のころから家族で何度も話題に上った事件なので、その細か  
な所まで頭に浮かぶから。

I 屋根に上った猿の心理状態が非常によくわかり、まるで自分のこ  
とのように感じられたから。

ウ 繰り返し何度も友達に話しているうちに、自分でも見たか見てい  
ないかわからなくなったから。

E 自分にもよく懐いていたかわいいた猿なので、その死が深い悲しみ  
となつて強く心に刻まれたから。

問二 — 線②「まっすぐに」、——線③「小走りに」とありますが、  
この二つに共通する心の状態を表した次の文の [ ] にあては  
まることばを、本文中から指定の字数で探し、書きぬきなさい。

気持ちの [ ] (八字)。

問三 A [ ] B [ ] に入ることばの組み合わせとして、最  
も適当なものを次のA～Eから選び、記号で答えなさい。

A A いらいら B のろのろ

I A そわそわ B せかせか

ウ A うずうず B おろおろ

E A せかせか B そわそわ

べて選び、記号で答えなさい。

A 遠い昔の映画を上映されているような安心感。

I 台風が刻々と迫ってくる緊張感と不安感。

ウ 場面が目の前に浮かんでくるような現実感。

E 台風の準備が着々と整っていくような充実感。

オ 家族みんなが協力しあっているという一体感。

問七 — 線⑤「目が覚めると、台風は嘘みたいにどこかへ行ってい  
た」とありますが、このことに対する筆者の反応を、本文中から五字  
で探し、書きぬきなさい。

問八 — 線⑥「よかったよかった」とありますが、筆者が、この裏に  
かくされていると思っていた気持ちを、本文中から十一字で探し、書  
きぬきなさい。

問九 — 線⑦「気のせいか」とありますが、このときの気持ちはどの  
ようなものと考えられますか。最も適当なものを次のA～Eから選  
び、記号で答えなさい。

A 台風が来る前の、気負いこんだ張り切りぶりとは逆ののどかさ

I 台風が家の近くを通ったことを知ったときの、気まずい楽しさ

ウ 台風がそれて無事にすんだ、というのんびりとした安らかさ

E 台風が過ぎ去った後の、気のぬけた思いも混じった清々しさ

問十 筆者は、どのような理由で、台風前の家族の様子を描いたのですか。最も適当なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 台風の前は、家族全員がそれぞれの重要な役割を持って、テキパキと動くから。
- イ 台風の前は、いつものケンカや気まずさなど吹き飛んで、一家が結束して生き生きしていたから。
- ウ 台風の前は、家族のそれぞれが興奮状態にあって、まるで別人のような魅力（みりょく）を放っていたから。
- エ 台風の前は、家族のそれぞれの性格が、行動となってはっきり表れて描きやすかったから。

公共博物館のようなものであり、死ねばほかの長老が引き受けていく。個人の所有のようであり、実はそうではない。

③ このような生活が、約二十万年前と言われるアフリカのホモサピエンス誕生（たんじょう）からつい最近三千年ぐらい前まで続いた。五万年前と思われる言語の誕生により、ホモサピエンスの歴史は大きな変化をこうむるが、それからでも、約四万七千年続いている。約二十万年の人類のほとんどの暮らしはこのようであり、人々はその中で生まれ、死んでいった。そのくり返しの中で、大きな変化を求めない。変化したくないということは、それで十分に安定していたということである。④ それが極めてまっとうな暮らし方だったのだ。

私たちの暮らししている現代社会は、変化することがいいことであると思われ世界だが、今の生活に満ち足りていない者は変化を求める。変化を求めるのはその意味で今が不幸であることの証（あかし）でもある。しかし、この変化には到達点（とうたつてん）がない。どこまで行っても、その先により便利で幸せな生活が待っているような気がしてしまう。一度変化し始めたら、走らなければ倒（たお）れてしまう自転車のように、休みなく前進せざるを得なくなる。死のらせん運動である。

C、ホモサピエンスが発明した最も優れた生き方は、実は、このような変化のない安定した太古の生活だったのではなからうか。現在でも、このような生活を営んでいる人々がいて、世界の各地に無文字社会として残っている。日本でも北海道でつい数百年前までそのような暮らしをしていた人々の偉大（いだい）な営み（えいみ）を見ることが出来る。

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。（設問に字数制限のある場合は、句読点や符号も一字と数えます。）

太古の時代、ものは少なかった。食べ物は最も重要なものであるが、余分に捕（と）れるということはあまりない。保存出来るものはいいけれど、保存出来ないものは、その場で消費するしかない。消費する量は決まっているから、捕りすぎるといこともしない。大体、木や石で作った道具（たぐい）しかないから、多く捕れるといっても、たかが知れている。自分たちに必要な量（りょう）を守って暮らす。A 知恵（ちえ）である。自然環境（じぜんかんきょう）に大変

B 社会（しやかい）である。  
① そんなふうだから、貴重なものである食べ物（たべもの）は、みなで分けあうというのが、基本的な原則（げんそく）だったに違（ちが）いない。誰（だれ）が捕（と）ったにしても、その獲物（えもの）が捕（と）った誰（だれ）かに帰属（きじゆく）するわけではなく、分配（ぶんぱい）されて、みなが食べた。優れた狩人（かりやうど）は、みなを尊敬（そんけい）を勝ちうることで満足（まんぞく）する。物語（ものがたり）を作（つく）って賞賛（しょうさん）されるという栄誉（えいよ）を担（たん）う。物質（ぶつ質）的に、優れた狩人（かりやうど）が物持ちになるというのではない。獲物（えもの）はみなのもので、自然（じぜん）から贈与（そうよ）されたもの、誰（だれ）のものでもなく、自然（じぜん）の所有（しやうゆ）するものだった。優れた狩人（かりやうど）は、自然（じぜん）の敵（てき）ではなく、② 自然（じぜん）に愛（あい）された人（ひと）である。

南太平洋（なんたいやうやう）にはポットラッチ（potlatch）という習俗（しゅうぞく）があつて、たまたま物持ちになつてしまつた人は、あるときに全財産（ぜんざいさん）をいっせいに分け与（あた）えるということをするらしい。平等（びやうどう）なのである。珍（めづ）しくて腐食（ふしょく）しない美しい貝（かい）や石（いし）は、一族（いちぞく）を代表（だいひょう）する長老（ちやうらう）の下（した）に集（あ）められるけれど、それは今（いま）で言（い）えば

D、三千年（さんせんねん）ぐらい前に、人類（じんるい）は鉄（てつ）を発見（はつけん）する。鉄（てつ）は木（き）や石（いし）に比べてはるかに細工（さいこう）しやすく丈夫（ぢやうぶ）で鋭（えい）い。鉄器（てつぎ）の使用（しよじ）によって、ヒトは大量（たくりやう）の食料（しょくりやう）を得（え）ることが出来るようになってしまふ。これは人類（じんるい）の生活（せいかつ）にとって革命的（かくめいてき）な変化（へんか）であり、核爆弾（かくはくだん）の発明（はつめい）よりも⑤ 大きな変化（へんか）をもたらした。鉄（てつ）を持っている部族（ぶぞく）は、鉄（てつ）を持たない部族（ぶぞく）よりも圧倒（あつぱく）的な優位（ゆうゐ）に立つ。狩（かり）の道具（たぐい）として、農耕（のうこう）の道具（たぐい）として、人を殺傷（ころしやう）する武器（ぶき）として、鉄（てつ）は大変（たいべん）に強い。鉄（てつ）を持たない部族（ぶぞく）は、鉄（てつ）を持つ人々（ひとびと）に従（したが）い、今（いま）では顔見知り（かみみしり）の範囲（はんゐ）を出（で）なかつた長老（ちやうらう）というリーダーは、顔（かほ）を見たこと（こと）もない中央（ちやうやう）にいる王（わう）の下（した）に支配（しはい）されることになる。また、鉄（てつ）を持たない人々（ひとびと）は、鉄（てつ）を求めて不利（ふり）な交易（かうぎ）を始め、やがて安定（あんてい）した暮らし（暮らし）を捨てて、⑥ 救（きう）いのない永遠（えいゑん）運動（うんどう）の渦（うず）に巻き込まれていく。……I

鉄（てつ）の使用（しよじ）によって、余剰（よじやう）なものが生まれる。食べきれないもの、使（もち）いきれないものが生（な）じる。そこで、余（あ）つたものを持（も）つ者が出来（こ）てくる。そうして所有（しやうゆ）、という觀念（かいはん）が生まれたのではなからうか。今（いま）までは、一つしかないから、当然（たうぜん）のように分け与（あた）えられてきた。しかし、ものが豊（ゆたか）かになって、同じ（おな）じものをお互（たが）いに持（も）っているとすれば、それぞれが二人（ふたり）個別（こくべつ）の占有物（しやうゆぶつ）になる。……II

鉄（てつ）以前（いぜん）、すべてのものは自然（じぜん）によって所有（しやうゆ）されていたので、所有（しやうゆ）という概念（かいはん）は必要（ひつやう）がなかつた。食料（しょくりやう）はすべて自然（じぜん）からの恵（めぐみ）みであつた。自然（じぜん）のものをもらつてきた。自然（じぜん）の所有（しやうゆ）するもののお余（あ）りを頂戴（ちやうたい）するといつた態度（たいど）だつた。……III  
しかし、鉄（てつ）の使用（しよじ）で、今（いま）まで怖（こ）くて近寄（ちか）れなかつたものさえも、簡単（かんぱん）

に手に入れられるようになり、ヒトの征服感を満たす。自然はただひれ伏すべきものだったのが、戦って征服すべきものに変わった。……IV  
⑦ 喫茶店でケーキを分けあう話は、私の頭の中で、人類の悠久の歴史に結び付くのだ。

(金田一秀穂『汚い日本語講座』による。問題の都合上、一部改変している)

問一 [A]・[B] に入ることばとして、最も適当なものを次のア～エからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- A ア 古い      イ 新しい      ウ 深い      エ 浅い
- B ア 厳しい      イ 優しい      ウ 近い      エ 親しい

問二 — 線①「そんなふうだから」とありますが、どんなふうだからなのでしょう。最も適当なものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

- A ア 太古の昔、食べ物は最も重要なものだったから。
- イ イ 太古の昔、食べ物は、保存できなかったから。
- ウ ウ 太古の昔、木や石で作った道具しかなかったから。
- エ エ 太古の昔、食べ物が取れすぎることがなかったから。

問三 — 線②「自然に愛された人である」とありますが、「自然に愛された人」とはどのような人ですか。最も適当なものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

- A ア 獲物をたくさんとった分だけ、自然をよく理解した人。

問六 [C]・[D] に入るつなぎことばとして、最も適当なものを次のア～エからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- A ア だから      イ しかし      ウ または      エ そのうえ

問七 — 線⑤「大きな変化をもたらした」とありますが、「生活」に、「大きな変化をもたらした」ものはなんだと言っていますか。最も適当なものをお次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

- A ア 食料の大量生産
- イ イ 王の支配
- ウ ウ 鉄器の使用
- エ エ 言語の誕生

問八 — 線⑥「救いのない永遠運動」とありますが、これと同じ意味のことばを本文中から七字で探し、書きぬきなさい。

問九 本文には、次の一文が抜けています。どこに入れるのが適当ですか。最も適当なところを本文中のⅠ～Ⅳの中から選び、記号で答えなさい。

だから余分なものを捕ることは罪悪でさえあった。

問十 — 線⑦「喫茶店でケーキを分けあう話は、私の頭の中で、人類の悠久の歴史に結び付くのだ」とありますが、これはどういう意味ですか。その説明となる次の文の [A] [C] にあてはまることばを指定の字数で本文中から探し、書きぬきなさい。

イ 自然を含む多くの者から、尊敬され、称賛される栄誉を担うことになる人。  
ウ 獲物を他の者より多く、所有者である自然からもらった人。  
エ たくさんとった獲物のあまりをみんなに分配して、決して独り占めしない人。

問四 — 線③「このような生活」とありますが、それは、どのような生活ですか。その答えとなる次の文の [ ] にあてはまることばを本文中から指定の字数で探し、書きぬきなさい。

[ (五字) ] がない時代。

問五 — 線④「それが極めてまっとうな暮らし方だったのだ」とありますが、そう言えるのは、なぜですか。最も適当なものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

- A ア 生活を変化させて、満足感を得られるようになるのは、ほんの握りだから。
- イ イ 生活に変化を求めると、現在を幸せだと感じられなくなるから。
- ウ ウ 生活に変化を求め始めると、いつまでもそれを求め続けるようになるから。
- エ エ 生活を変化させても、いつまでたっても便利な生活など来ないから。

人類は、その約 [A (四字)] の歴史のほとんどを、個人個人で [B (三字)] としてものを持つのではなく、 [C (七字)] 生活をしてきたということ。

3 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(設問に字数制限のある場合は、句読点や符号も一字と数えます。) なお、著者の羽生善治氏は埼玉県所沢市の出身です。

基本的に、講演会などの依頼は一年前だとか遅くとも半年前にはきて、予定を決めることになる。一方で対局の日程は早くて一カ月、遅いと二週間前にならないと分らない。しかし、そんなことは、依頼するほうは知る由もない。だから、仕方のないことではあるのだが、これは①自由業ならでのことなかもしれない。ただ、そのお陰でいろいろな場所、組織、人にお会いさせていただくことができた。

自分の想像を超えたところで経験をすることは大きな刺激になるし、次へ進んでいく推進力にもなると考えている。たしかに誰でもダメなもの、苦手なものはあるが、それを理由に自分で自分の限界を決めてしまっている面もあり、そこで終わりにしてはいけないと、自身では気づいているところもあるはずだ。そうしてその葛藤は何かしらの満足が得られるまではずっと続いていくのだろう。

よく、転機という言葉が使われるが、たしかに自分が予想しなかった何らかの出来事で状況が変わることはある。しかし、転機は自発的な行動の中から生まれてくるもので、その小さなきっかけを意識的にたくさんつくっておけば、訪れる転機の回数も増えるのだと思う。それを活かせるかはまた別の話ではあるのだが、切り替えを早くしたり、行き詰まった状況を打開するには転機のきっかけをつくるのが重要だと

考えている。  
転機とは「天気」のようなもので、いつ、どのように変わるかは分からない。晴れたら海で泳ぎ、雪が降ったらスキーをするぐらいの感覚でちょうどいいのかもしれない。

(羽生善治『直観力』による)

問一——線①「自由業」とありますが、これは、「自由」という二字熟語に「業」という一字の漢字を加えた組み立ての三字熟語です。この熟語と同じ組み立ての熟語を、次のア～コの中からすべて選び、記号で答えなさい。

- |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| ア 無記名 | イ 大成功 | ウ 日用品 | エ 松竹梅 |
| オ 委員会 | カ 原始林 | キ 愛読書 | ク 難問題 |
| ケ 電磁石 | コ 地下鉄 |       |       |

問二——線 a～e のことばの主語を、それぞれ書きぬきなさい。

4 次のことわざ・慣用句の①～⑤の( )には、体の一部を表す漢字一字を入れて、下の意味の慣用句を完成させなさい。また、⑥～⑩の( )には、漢数字を入れて、ことわざを完成させなさい。

- ① ( ) をとがらせる。……不満の気持ちを顔に出す。
- ② ( ) がくらむ。……何かに心を奪われて良い悪いの区別がつかなくなる。
- ③ ( ) をつつこむ。……物事に関係する。
- ④ ( ) がつけられない。……どうすることもできない。
- ⑤ ( ) が広い。……世間に広く名が知られている。
- ⑥ すずめ( ) までおどり忘れず。……幼いころの習慣は何年たっても変わらないこと。
- ⑦ 人のうわさも( ) 日。……うわさは長続きしないということ。
- ⑧ 石の上にも( ) 年。……根強く待てば最後はむくわれるということ。
- ⑨ ( ) 寸先は闇。……将来のことは全く予知できないということ。
- ⑩ ( ) 階から目薬。……効果がなくじれったいこと。

5 次の①～⑤に上げたものを数えるとき使う言葉をア～コの中から選び、それぞれ記号で答えなさい。(ただし同じものは二度使わないものとします。)

- |      |      |        |      |       |
|------|------|--------|------|-------|
| ① 部屋 | ② 短歌 | ③ 手紙   | ④ 洋服 | ⑤ たんす |
| ア 着  | イ 通  | ウ 尾・ひき | エ 番  | オ さお  |
| カ 曲  | キ 両  | ク 間・室  | ケ 句  | コ 首   |

6 次の①～⑩の文の——線をつけた漢字は読み仮名をひらがなで、カナは漢字に直して答えなさい。

- ① 先生を交えて会合を開く。
- ② この草には解毒作用がある。
- ③ 新しい望遠鏡を買う。
- ④ レーダーは昔電子探知機と呼ばれていた。
- ⑤ 情報がインターネット上で拡散される。
- ⑥ 鉄道会社にキムムする。
- ⑦ 入院してカンゴシの世話になる。
- ⑧ 相手の実力をゴサンしていた。
- ⑨ 会場に人々がムラがる。
- ⑩ 電話でキュウキュウ車をよぶ。

【問題は、ここから終わりです】

氏 名



**SHOHEI**

2015 年度 第 1 回入試  
 昌平中学校入学試験問題  
 (1 月 10 日午前実施)

受験番号						
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; border-right: 1px dotted black; height: 30px;"> </td> <td style="width: 15%; border-right: 1px dotted black;"> </td> <td style="width: 15%; border-right: 1px dotted black;"> </td> <td style="width: 15%; border-right: 1px dotted black;"> </td> <td style="width: 15%; border-right: 1px dotted black;"> </td> <td style="width: 15%;"> </td> </tr> </table>						

得 点			
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; border-right: 1px dotted black; height: 30px;"> </td> <td style="width: 30%; border-right: 1px dotted black;"> </td> <td style="width: 30%;"> </td> </tr> </table>			

# 国 語

解答用紙

<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center; padding: 5px;">6</th> </tr> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 5px;">⑥</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 5px;">①</td> </tr> <tr> <td style="height: 100px;"> </td> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">(えて)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">⑦</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">②</td> </tr> <tr> <td style="height: 100px;"> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">⑧</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">③</td> </tr> <tr> <td style="height: 100px;"> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">⑨</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">④</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">(がる)</td> <td> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">⑩</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">⑤</td> </tr> <tr> <td style="height: 100px;"> </td> <td> </td> </tr> </table>	6		⑥	①		(えて)	⑦	②			⑧	③			⑨	④	(がる)		⑩	⑤			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: center; padding: 5px;">5</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">①</td> </tr> <tr> <td style="height: 100px;"> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">②</td> </tr> <tr> <td style="height: 100px;"> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">③</td> </tr> <tr> <td style="height: 100px;"> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">④</td> </tr> <tr> <td style="height: 100px;"> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">⑤</td> </tr> </table>	5	①		②		③		④		⑤	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center; padding: 5px;">4</th> </tr> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 5px;">⑥</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 5px;">①</td> </tr> <tr> <td style="height: 100px;"> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">⑦</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">②</td> </tr> <tr> <td style="height: 100px;"> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">⑧</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">③</td> </tr> <tr> <td style="height: 100px;"> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">⑨</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">④</td> </tr> <tr> <td style="height: 100px;"> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">⑩</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">⑤</td> </tr> <tr> <td style="height: 100px;"> </td> <td> </td> </tr> </table>	4		⑥	①			⑦	②			⑧	③			⑨	④			⑩	⑤			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center; padding: 5px;">3</th> </tr> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 5px;">問二</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 5px;">問一</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">a</td> <td style="height: 100px;"> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">b</td> <td> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">c</td> <td> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">d</td> <td> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">e</td> <td> </td> </tr> </table>	3		問二	問一	a		b		c		d		e		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center; padding: 5px;">2</th> </tr> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center; padding: 5px;">問十</td> <td style="width: 33%; text-align: center; padding: 5px;">問六</td> <td style="width: 33%; text-align: center; padding: 5px;">問一</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">A</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">C</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">A</td> </tr> <tr> <td style="height: 100px;"> </td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">D</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">B</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">B</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">問七</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">問二</td> </tr> <tr> <td style="height: 100px;"> </td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">問八</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">問三</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">C</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">問四</td> <td> </td> </tr> <tr> <td style="height: 100px;"> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">問九</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">問五</td> <td> </td> </tr> <tr> <td style="height: 100px;"> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	2			問十	問六	問一	A	C	A		D	B	B	問七	問二		問八	問三	C	問四					問九	問五					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center; padding: 5px;">1</th> </tr> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center; padding: 5px;">問八</td> <td style="width: 33%; text-align: center; padding: 5px;">問六</td> <td style="width: 33%; text-align: center; padding: 5px;">問一</td> </tr> <tr> <td style="height: 100px;"> </td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">問二</td> <td> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">問七</td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td style="height: 100px;"> </td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">問三</td> <td> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">問九</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">問四</td> <td> </td> </tr> <tr> <td style="height: 100px;"> </td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">問五</td> <td> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">問十</td> <td> </td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">↓</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">↓</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">↓</td> </tr> </table>	1			問八	問六	問一		問二		問七				問三		問九	問四			問五		問十		↓			↓			↓
6																																																																																																																																					
⑥	①																																																																																																																																				
	(えて)																																																																																																																																				
⑦	②																																																																																																																																				
⑧	③																																																																																																																																				
⑨	④																																																																																																																																				
(がる)																																																																																																																																					
⑩	⑤																																																																																																																																				
5																																																																																																																																					
①																																																																																																																																					
②																																																																																																																																					
③																																																																																																																																					
④																																																																																																																																					
⑤																																																																																																																																					
4																																																																																																																																					
⑥	①																																																																																																																																				
⑦	②																																																																																																																																				
⑧	③																																																																																																																																				
⑨	④																																																																																																																																				
⑩	⑤																																																																																																																																				
3																																																																																																																																					
問二	問一																																																																																																																																				
a																																																																																																																																					
b																																																																																																																																					
c																																																																																																																																					
d																																																																																																																																					
e																																																																																																																																					
2																																																																																																																																					
問十	問六	問一																																																																																																																																			
A	C	A																																																																																																																																			
	D	B																																																																																																																																			
B	問七	問二																																																																																																																																			
	問八	問三																																																																																																																																			
C	問四																																																																																																																																				
問九	問五																																																																																																																																				
1																																																																																																																																					
問八	問六	問一																																																																																																																																			
	問二																																																																																																																																				
問七																																																																																																																																					
	問三																																																																																																																																				
問九	問四																																																																																																																																				
	問五																																																																																																																																				
問十		↓																																																																																																																																			
		↓																																																																																																																																			
		↓																																																																																																																																			